



3月になり日頃春めいてまいりましたが、まだまだ寒い日が続きますので
ひきつづき体調管理には留意しましょう



3月(弥生)

草木彌生月(くさきいやおいつき)に由来しており、草木が生い茂ることを意味します。古文書にもあり、若草がいよいよ生い茂る事を示しています

今回は国技 大相撲の歴史について



起源をたどっていくと神話の時代までさかのぼり1500年の歴史があると言われています
始まりは古事記や日本書記の中にある力比への神話や宿禰(すくね)などの伝説があり
その年の農作物の収穫を祝う儀式として毎年行われるようになり、宮廷行事として300年続いたそうです

戦国の時代になってからは、武士の戦闘訓練として盛んに相撲が行われるようになり、
その中でも織田信長は相撲を深く愛好し、各地から力士を集めて上覧相撲を催し勝ち抜いたものを
家臣として招き入れたと言われています。

江戸時代になると、浪人や力自慢の者の中から相撲を職業とする人が現れ、全国で
勧進相撲が行われるようになり、江戸中期には定期的には大相撲が興行されるようになったそうです。
やがて谷風・小野川・雷電の3大強豪力士が出現し、将軍上覧相撲も行われ相撲人気は休息に高まり
今日の大相撲の基礎が確立されるようになったそうです。

江戸時代からは、変わらぬ姿として洗練され、様式化されてスポーツとして我が国固有の伝統文化となりました。

きまりて

かちまけが しまった ときの わざの ことを いいます。
ぜんぶで 82しゅるいの わざが あります。

きほんわざ つく、おすなどして、あいてを おしだしたり、たおしたりする わざ。



つきだし



おしおし



よりきり

なげわざ あいてを なげて、たおす わざ。



うわてなげ



すくいなげ



いっぽんざおい ※レア

かけわざ あしを かけるなどして、あいてを たおす わざ。



うちがけ



けたぐり



おおまた ※レア

そりわざ じぶんの からだを そらして、あいてを たおす わざ。



いぞり ※レア



かけぞり ※レア



つたえぞり ※レア

ひねりて あいての からだを ひねるように して たおす わざ。



つきおし



とったり



とったりなげ ※レア

とくしゅわざ どのわざにも はいらない とくべつな わざ。



はたごみ



おくりだし



よびもどし ※レア